

目次

まえがき 4

第一部 名古屋ノーベル賞物語

- 1 「静」の小林、「動」の益川
名大で運命の出会い 8
- 2 下町のエジソン
父譲り 科学の感覚 10
- 3 海部家で 母を気遣う静かな子 12
- 4 大空襲 地獄絵図が原体験に 14
- 5 焼け跡 すべてが遊び道具に 15
- 6 優等生 間違いには妥協せず 18
- 7 宿題 「全然せず」遊び盛り 20
- 8 小説小僧 好奇心の窓、読書から 21
- 9 人工衛星 宇宙開発、幕開け興奮 23
- 10 坂田モデル 名大発 新理論に衝撃 25
- 11 指導教官 人間形成大きな影響 26
- 12 仲間 遊んで学んで夢共有 28
- 13 伊勢湾台風 猛威、学校生活が一変 30
- 14 語学 上達へ努力惜しまず 32
- 15 理論屋 磨きがかかる独創性 34
- 16 坂田研究室 民主的で自由な環境 35
- 17 教室会議 民主主義、能力伸ばす 37
- 18 コロキウム室 おしゃべりと 世界最先端の議論が同居 40
- 19 結婚式 新しい日本の姿を模索 42
- 20 京都へ 独創性、世界の常識覆す 44
- 21 光る物質 新分野 名大で出会う 47

第二部 受賞報道

- 第一章 受賞決定 51
- 第二章 ストックホルムで 103
- 第三章 名古屋大記念講演 117

語録 益川敏英 150

語録 小林誠 152

あとがき 155

歴代の日本人ノーベル賞受賞者 158